

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-22 <input type="checkbox"/> 支援部門		シルバー人材センター支援事業				
主管課	高齢者いきいき課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	高齢者の生きがい及び社会参加を図るための就業機会の提供						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	62,627千円	73,263千円	59,631千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	7,000千円	7,000千円			
	(一般財源)	62,627千円	66,263千円	52,631千円			
	人員配置数	0.3人	0.3人	0.3人			
	人件費(千円)	2,669千円	2,809千円	2,828千円			
	協働のパートナー	無	無	無			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	65,296千円	76,072千円	62,459千円			
	市民1人当りの経費(円)	369円	431円	354円			
	対象者1人当りの経費(円)	88,119円	103,079円	86,032円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
シルバー人材センター会員人数	○	目標値	900人	900人			
		実績値	738人	741人			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
シルバー人材センター支援事業	57,793千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	
	事業の概要	シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運用を支援する。				
シルバー人材センター事務所移転事業	4,834千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	
	事業の概要	事務所の運営に係る経費を補助する。				
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	
	事業の概要					
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	
	事業の概要					
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	年度当初は事務所の移転等があり、6月末まで事務所が落ち着かず、会員にもうまく対応ができなかった。会員数は微増にとどまっておらず、また昨今の経済情勢からセンターの受注件数も減少している。独自事業の新規開拓には至っていない。					
課題解決のための取組	センターでは、ホームページを充実させるとともに、各所に入会の案内・仕事の募集のパンフレットを配布し、開拓に努めた。					
未解決の課題	団塊世代の高齢者の受け皿として機能するよう、職種の拡大が必要である。					
今後の方針	できるだけ自立した運営に移行できるように、適正な補助金のあり方・支援の方法等について検討を進める。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	C	※ <input type="checkbox"/> 事業完了	課長名	高齢者いきいき課長 筒谷 正明

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
シルバー人材センター支援事業	主な個別事業	890 協議会負担金	110	110	■適切 □見直し余地あり
		890 運営費補助金	51,889	50,683	□適切 ■見直し余地あり
		890 運転資金貸付金	7,000	7,000	■適切 □見直し余地あり
シルバー人材センター事務所移転事業	主な個別事業	1,365 事務所補助金	4,834	4,834	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり